

商品力向上による観光果樹経営体の育成 ～なし「恵水」等の生産安定～

県北農林事務所経営・普及部門

JA 常陸常陸太田梨部会の中核的経営体を対象に「恵水」を中心としたなし安定生産のための技術確立・普及による経営体の所得向上に取り組みました。

特に産地内に受粉樹が少ないことから既存樹（豊水、二十世紀など）からの枝採取による花粉の安定確保、花摘みボランティアの活用、かん水の励行による高温対策、「恵水」ジョイント栽培の指導を実施し、産地における「恵水」販売の拡大を図りました。

併せて、県内初となる「恵水」梨コンテストの実施や、地元の「道の駅ひたちおおた」でのグランプリ果実の高単価販売などにより「恵水」の生産振興と常陸太田市のなしのPRに寄与しました。

安定した花粉確保・受粉プロジェクト

「豊水」「二十世紀」などの既存樹からのせん定枝の採取・加温により、効率的に発芽率の高い花粉を採取する方法を実証し、部会内への普及を図りました。

さらに部会が市、JA と連携して実施した「花摘みボランティア」への支援や、優良な花への確実な受粉を指導することで高品質「恵水」の生産体制を強化しました。



図1 せん定枝からの花粉採取とボランティアによる受粉



図2 井戸水かん水と「恵水」現地検討会（研究部）

高品質「恵水」生産のための現地指導

部会員及び部会内の若手生産者である研究部員を対象に「恵水」の着果管理や井戸水等を活用したかん水の励行などの高温対策を推進しました。また収穫時期の判定について現地検討会を実施し、「恵水」の高品質生産の推進と併せ収量向上を図りました（R6 2.6t/10a → R7 2.8t/10a）。

さらに水田畑地化事業の活用による新植を進め、二本主枝やジョイント栽培など省力樹形を導入し（2件計 90a）、なし経営の規模拡大を図りました。

「恵水」梨果実コンテストの開催

JA 常陸常陸太田梨部会主催による県内初となる「恵水」梨コンテスト『常陸太田の頂（いただき）』の開催を支援しました。9名の生産者から27果の「恵水」が出品され、果実重1kg以上、糖度14度以上、秀でた外観品質を基準に関係機関を交え審査を行いました。入賞果実は、地元の「道の駅ひたちおおた」で開催された「恵水フェア」において高単価で販売し、産地PRと「恵水」の生産振興につなげました。



図3 「恵水」梨コンテスト『常陸太田の頂（いただき）』